

福岡県社保協 Fax Mail ニュース

2023.08.9 No.119

福岡県社会保障推進協議会

電話 092-483-0431

FAX 092-483-0435

E-mail syaho@f-kenren.or.jp

更なる社会保障制度の改善を目指して

福岡県社会保障推進協議会第29回定期総会開催

7月15日、福岡県社保協第29回定期総会を52名の参加（うち11名はWEB）で開催しました。昨年に続き対面での総会開催となりました。指定報告では、保険医協会、北九州市社保協、筑後地区社保協、自治労連、福商連、県労連の6団体より、保険証廃止の反対運動、自治体キャラバン、裁判闘争、インボイス制度、最賃運動など社会保障制度の改善に向けたこの間の闘いが詳細に報告されました。会計報告提案では、2022年度総括と方針、2023年度の決算と予算について確認されました。総会最後に、5年に渡り県社保協を指導、牽引した田村会長より、退任の挨拶がされ、研修医時代に社保運動の原動力となった忘れられない患者さんの話に参加者一同、琴線に触れる面持ちで聴き入っていました。



挨拶する田村会長

記念講演では、県立広島大学の志賀信夫准教授をお招きして「貧困問題を通して今後の社会保障改善運動を考える」をテーマにお話しを頂きました。「貧困とは何か」に始まり、貧困の歴史的変遷が述べられ、最終的に、貧困を余儀なくされている人々の「不正義の是正」を積み重ねていく事が、「一般利益」の実現に繋がるとの内容に、「貧困についての理解が進み、運動に対する確信が深まった」との感想が寄せられました。



講演する志賀准教授

高齢者医療費窓口負担2割を中止せよ！

後期高齢者医療広域連合議会へ請願書提出



会場前でスタンディング宣伝

福岡県後期高齢者医療広域連合議会が、8月2日(水)午後2時より、福岡県自治会館（博多区）で開催されました。福岡県社会保障推進協議会は、「75歳以上の医療費窓口自己負担2割化の中止などを求める意見書提出について」の請願書を提出しており、21名で傍聴しました。開会前に会館玄関入口横で、会館入場の議員と通行者に向けて、医療費窓口負担2割化の中止を求めるスタンディング行動を行いました。今回は福岡県社会保障推進協議会の他に、年金者組合福岡県本部、福岡県民医連共同組織連絡会から請願書を提出しました。

請願は、出席議員23名の内2名(共産：中山郁美福岡市議、無所属：井上しんご北九州市議)の賛成少数で否決されました。請願提案に先立ち、一般質問で中山議員がマイナンバーカードとの一体化問題と、2倍化実施影響について広域連合としての所見を質問しました。後期高齢者医療広域連合当局は、「マイナ保険証の一体化は一定のメリットがある」「福岡県は一人当たりの医療費が高額なため適正化を市町村に協力戴きながら安定的な制度運営を図っていく」という答弁でした。高齢者の実態をまともに認識しようとしない広域連合当局の姿勢に、参加者一同に落胆の思いが広がりました。県社保協としては、これからも粘り強く多くの議員に働きかけ運動を広げていきます。



質問する中山議員